

## 目標を定め自分を磨け・立志式

2月10日（金）、鶴田中学校（野呂登志道校長）で、2年生133人（男66人、女67人）が、大人の仲間入りの儀式である「立志式」に臨みました。

式で野呂校長は、「勉強や部活動を頑張る人には自由な時間はありませんが、自由がないからこそ自分が成長します。目標を定め、損得を考えず自分を磨いてください」と生徒に言葉を贈ると、生徒代表の宮本匡隆君は「立志式を機会に気持ちを新たに、学年全体で良い雰囲気を作り、責任ある行動がとれるよう頑張ります。」と誓いの言葉を述べていました。



誓いの言葉を述べる宮本匡隆君（左）と静粛に聞く生徒たち



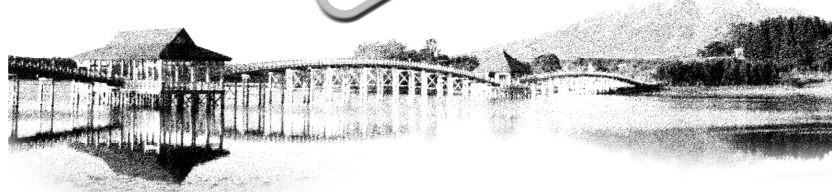
・全員で町民憲章を朗読し、志を持つことを誓う



1/10 鶴田小チームが「学校給食献立コンクール」で優秀賞を受賞

1/18 社会福祉協議会・町大工組合によるボランティア除雪が始まる

1/29 冬期高齢者世帯等一斉見守り活動に集まった町民の皆さん



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

## ずぐりまわしに挑戦

1月28日（土）、山道老人憩いの家で「ずぐりまわし大会」が開かれ、地区の子どもたち17人と地区の方々が参加して津軽地方伝統の冬の遊びを楽しみました。

大会の前には、コマを回すひもとなる荒縄のなえ方を教わり、荒縄づくりにも挑戦しました。

この大会を企画した渋谷信一町内会長は、「子どもたちが夢中になって遊んでくれて何より嬉しい。昔の遊びも子どもたちにとって楽しいものには変わらない」と大会の成功を喜んでいました。



・上／指導にあたった小野寺秀昭さんから回し方を教わる子どもたち  
・下／優勝した子どもには、地元の一戸平二さんが作った優勝盾が贈られる



・津軽伝統のずぐり（左下）とずぐりまわしに興ずる子どもたち

## 吹雪に負けず無火災を願う

1月5日(木)、今年の厳冬を象徴するかのような猛吹雪の中、「鶴田町消防団出初め式」が執り行われました。

消防団員ならびに婦人防火クラブの約300人が、吹雪に負けず、丹頂大通りから本町通りにかけて勇壮なまとい振りと分列行進を沿道の町民に披露して、今年の無火災を願いました。

また消防団は、鶴田八幡宮で無火災祈願をした後、体育センターで式典を執り行い、鶴田町長表彰として無火災竿頭綬と鶴田町消防団長表彰として優良章をそれぞれ個人・分団に贈りました。



・分列行進をする消防団員



・猛吹雪の中、ラッパを吹き続ける音楽隊

## 新年に願う・さまざまな思い

年末年始にかけて町内の各地で、新年に思いをはせてさまざまな催しが行われました。その様子を写真でお伝えします。



①五穀豊穡を願う若者たちが「サイギ サイギ」の掛け声とともに地区を練り歩く「中野裸参り」(1/1) ②五穀豊穡を願う奉納された山道弥生画保存会の弥生画「静御前」(12/30) ③平穏無事と五穀豊穡を願って奉納された元町弥生会の弥生画「白上姫龍神物語」(12/31) ④たくさんの方が初詣に訪れました(鶴田八幡宮) ⑤中野裸参りの前をお供えを持って歩く子どもたち ⑥大性子ども会が地元の神社に奉納した絵馬(12/31) ⑦弥生画を奉納した山道子ども会の子もたち ⑧新年の飛躍を願い、新春の空に鶴岡が揚げられる「鶴岡揚げ大会」(1/2) ⑨鶴岡揚げ大会表章紙の様